

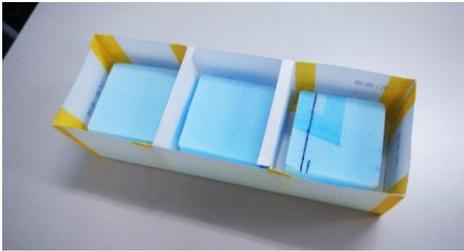
商船学科 体験学習の課題

平成30年度

●テーマ 貨物船を作ろう

●用意されるもの

厚紙、重い貨物（鉄ブロック）、軽い貨物（発泡スチロールブロック）、はさみ、定規など



●体験学習の内容

船を安全に運航させるためには、波や貨物の重さによって船体が壊れてはいけません。そのため、船は丈夫な構造をしています。そこで、厚紙で製作した箱舟を用い、重い貨物（鉄ブロック）の重さによって壊れない丈夫な船を製作する課題にチャレンジします。

まず、船の構造について授業形式で学習します。そして、どのように丈夫な船の構造にするかを、学習した内容をもとに、グループ単位で互いに意見を出し合い協力しながら考え、箱舟を製作し、船の部品を配置します。この箱舟に、重い貨物（鉄ブロック）を載せ船の変形や破壊について調べ、船の構造と船の丈夫さについて学習します。

●出題のねらい

自分で考えをわかりやすく説明し、仲間に理解してもらうことはとても大切です。体験学習では、課題をグループ単位で取り組み、どのように役割分担をするか、また、課題をどのように解決していくか、その過程を重視します。また、課題に取り組む姿勢を通じてリーダーシップや協調性、およびコミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！

中学生のレベルでも「船乗り」としてできることはたくさんあります。

それを体験してもらい、うまくこなせるか、特に、グループ内で協力しながら意見をまとめられるか、多くの作業を分担してできるのか、そして途中であきらめずやりとげることができるかが重要です。

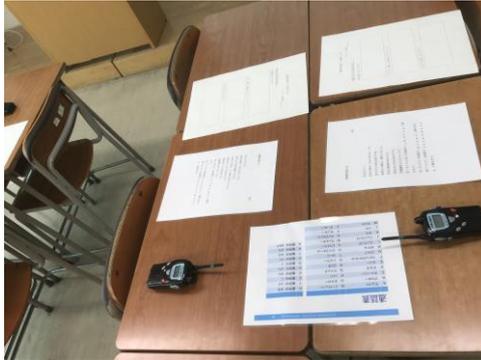
この選抜で与えられる課題は、正解を得ることが目的ではありません。各自が一生懸命考え、互いに意見を交わしあえること、そして、グループ内の誰とでも仲良くできることが重要となります。

平成31年度

●テーマ 船でのコミュニケーション方法を知ろう！

●用意されるもの

記録用紙、参考資料、無線機など



●体験学習の内容

商船学科を受検するほとんどの生徒は海事分野に関心があると考えられますが、船を安全に運航するためには、専門技術だけでなくコミュニケーション能力も必要となります。そこで、「船員に求められるコミュニケーション」について授業と無線機を使った体験を通して考察します。はじめに、授業形式で一般的なコミュニケーション能力と、船に必要な連絡体制やその内容について学習します。次にグループに分かれ、実際に無線機を使って交信し、無線機を使った時の会話と普通の会話との違いを体感します。何が違ったか、またその違いが起きた理由をまとめ、どのようにすれば会話が伝わりやすくなるか、さらに会話だけでなく、コミュニケーション能力について考察します。

●出題のねらい

自分で考えをわかりやすく説明し、仲間に理解してもらうことはとても大切です。体験学習では、課題をグループ単位で取り組み、どのように役割分担をするか、また、課題をどのように解決していくか、その過程を重視します。また、課題に取り組む姿勢を通じてリーダーシップや協調性、およびコミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！

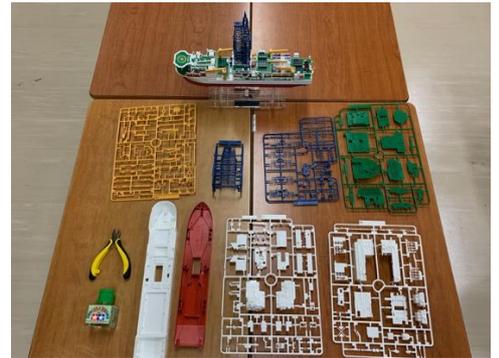
あたりまえと普段意識せず生活している中に、船乗りとしても大切なことがたくさんあります。課題点を見つけ、グループで協力しながら考えを出し合い、協力して意見をまとめ改善案を考え出せることが重要です。この選抜では考えた結果に正解不正解を求めません。各自が一生懸命考え、互いに意見を交わしあえること、そして、グループ内の誰とでも仲良くできることが重要となります。

令和2年度

●テーマ 海洋調査船のことを知ろう！

●用意されるもの

調査船模型キット、製作手順書、ニッパ、接着剤、メモ用紙、筆記用具、参考資料



●体験学習の内容

船と呼ばれるものには色々な種類があります。その中でも海洋調査船を対象に、グループ内で模型船を分担して製作する課題に取り組みます。対象とした調査船は地球深部探査船の「ちきゅう」で、舵の代わりとして6つのスラストがあり、船体の中央には掘削やぐらが組んである、など様々な特徴があります。この船の模型製作に取組んだ後に、「ちきゅう」が実際に行っている調査の内容などについて、配布される資料を参考に学びます。また、未来の海洋調査船で調べたいこと、調べられたら良いと思うことをグループで話し合います。グループでの模型船製作や資料をもとにした話し合いなど、海洋調査船について体験を通じて学習します。

●出題のねらい

船員にとって自分で考えたことをわかりやすく説明し、仲間に理解してもらおうとすることはとても大切です。課題をグループ単位でこなしてもらい、どのように役割分担をするか、それぞれの役割を積極的にこなしているか、課題をどのように協力して解決していくか、そのプロセスを重視します。リーダーシップや協調性、前向きな姿勢、コミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！

「船乗り」として、中学生段階でできることを体験してもらうことを目指した課題です。グループ内で協力しながら意見をまとめられるか、また最後まであきらめずにやりとげることができるかが重要です。

この選抜で与えられる課題は、正解を得ることが目的ではなく、各自が一生懸命考え、グループのみんなとコミュニケーションをとることが重要となります。